
南の島トラベル

笑美

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

南の島トラベル

【Nコード】

N8575C

【作者名】

笑美

【あらすじ】

旅行会社で働く掛井麻美子は毎日残業ばかりして終電にかけこむOL。こんな生活に飽き飽きしていた矢先、会社から添乗の仕事を命じられる。

序章

ⅡⅡ 序章・オフィスで その1ⅡⅡ

あ、もうすぐ8時だ、
またいつの間にかの残業

上司曰く

掛井さん、要領悪いんだよ。

俺の分は終わってるからお先に、な！

1時間前はおなかすいていたんだけど、
ご飯のこと考えると仕事にならないし

がまんしてたら

もう2時間たってた。

わたしの他にもまだ残っている人いる

だいたいこの仕事、

5時まで接客してそれから事務処理だから
定時に帰れるはずない

それでもちゃんと帰る上司はすごい、

だって、

みんなの冷ややかな視線を背に浴びながら

去っていくんだからさッ

あたしたちが残業してるの知ってるんだから
夜食とか

差し入れとか

してくれてもいいのに！

あたしたちより給料いくせに

まあ、この業界は利薄酷働

（これあたしの造語）

いくら出世しても航空会社のフツートのスタッフと同額の給料
トラバユしても使い物にならない、

そっ、手に職がない職種。

こんな愚痴いまさらいつてもしょうがない。

とりあえず今日も終電に間に合うように
片付けないと。

ホームの階段走るのしんどいしね。

こんな感じの毎日を送る

フツートのOLです。

序章 その2

私、掛井真由子は大阪市内の某旅行代理店で働くOL
旅行代理店のカウンター、
旅行を販売する部署です

某駅の中にあるので
航空券、新幹線チケット
宿なんかの手配が多い。

海外旅行のパッケージも販売する

海外いったことなくせに、
ハワイのこの通りのレストランは美味しいですよ

とか、自分で行ってなくても
サイトの口コミで情報収集してるから
スラスラと出てくる

いいよね、
ウソじゃあないし。

大学が英文科だったので英語が使える仕事を
と思い、旅行会社を希望した

ついでに、色々旅行もいけるのになって
期待してた

勤続3年目、
もう新入社員でもないし、
まだまだベテランでもない

すごく中途半端なレベル

ちよつとしたミスでも叱られ
新入りの指導もまかされる。

事務的作業が多くスーパーOLでも残業は必須
旅行にいけるなんて大きな間違い。

大学で勉強した英語も使う機会ナシ
(忘れてしまっじゃん)

さらに大きな誤算は・・

安月給ううー!!

税金とかで色々引かれて
もらえるのはこんだけ。

一人暮らしにはとてもツライ額なんです

なんで旅行会社なんか就職したんだろう

今更遅いか。。。

従業員260人の中小企業

こんなかで社内結婚でもする？

あー。――

ダメ！ダメ！ダメ！ダメ！

絶対苦しい結婚生活がまってるはず。

気になる人はいるけど、
既婚だったり、
やっぱり頭に金銭的なことがよぎるヨ

あたしって結構

現実的かも？

序章 その3

うちの会社の本社に中国課というのがある

中国への手配だけを専門とする特別な課。

この課に同期入社の沢田悦子が配属されている

悦子は入社前の研修の時に同じグループだった
1グループ6人制、

私より年上で姉御肌の悦子がリーダー

面倒見がよく、年上だからっていばってない
そして

ひょうきん

（この言葉 死語？）

キレイな顔立ちなのに
どこか

おやじっぽい！？

私達グループは彼女のおかげですぐ仲良くなれた

3年たった今も私達6人は配属部署はバラバラだけど
電話やメールでつながってる仲良し。

社内でこの6人組の絆の強さはちょっと有名

そんな悦子さん、なぜ中国課にいるかというと

学生時代中国語を専攻して、
中国語

ペラペラ・・・

なんです。

あたしと同期なのに、

中国、台湾、香港・・・と

たくさん仕事で海外に行っている。

うらやましかったりするけど、

彼女は特別。

ある日、悦子さんからメールで、

悦：「今度、中国の大連に行くの」

私：「大連って 中国のどの辺？」

旅行会社にいながらアホな質問・・・

悦：「そんなマヌケなこと聞かんで、
でも、飽き飽きよ。 添乗なんて」

私：「えー、いいじゃん、私なんかまだ一回も・・・」

悦：「まだ行っていないの？ でも楽しじゃないよ。 添乗って仕事」

「それよりさ、いつも中国語圏ばかり、」

私：「悦子さんは中国語話せるモンね」

悦：「そうだけどさあー、もっと違うところ行きたいよ。
ハワイとか、ヨーロッパとか。」

私：「一生中国だったりして」

悦：「やめてよー。お土産なし！」

メールはここまで。

悦子さんは翌日大連へと向かった。

ハワイ

悦子が旅立った翌日、客の足が引いた正午すぎに上司に呼ばれた、

「えーっと、キミ！　ちょっと。」

「掛井　です。」

「そうそう、掛井君、来週からハワイに行ってきてほしいんだけど」
「エー？　ハワイ？？」

「そう、ハワイ、誰も行く人なくて・・・　お、いや、
掛井さん、まだ行ったことなかったよね」

「はあ。」

「研修だから、１週間ね」

「一週間も！？」

「ところでパスポートもってる？」

「はい、入社した時につくりました。」

「きれてないよね？」

「１０年ものですから、大丈夫です。」

上司と話し終わって自分の席についた時、
心臓がバクバクしてしまった。

おー！！

初海外がハワイ！

なんかカツコイイ& a m p ; # 9 8 2 5 ;

ハワイだよー、アメリカ合衆国だよー

憧れの島だよー！

悦子が帰ってきたら自慢してやろう、フッフ・
いつも自慢されてばかりだったからね
研修っていうのも客がないし、楽かも

来週って、もう時間内。

旅の準備しなくっちゃ！！

今日は仕事に気合がはいり、早めに切り上げて
本屋さんへ向かった。

ハワイの本読んでないと。

予習・予習・

旅行書籍コーナーへ行くと、結構色々な本がある
ハワイなんて数十種類

観光地が少ないハワイの研修といえばホテル
ホテルの紹介が多い本を買っておこう。

帰りの電車で早速買った本をパラパラとめくる

どの航空会社で行くんだろう？

泊まるホテルどこだろう？

どんなホテルまわるんだろう？

で、誰と行くんだろう・・・

いろいろ想像すると楽しい。

帰ったらスーツケース出してもう荷造りの準備だ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8575c/>

南の島トラベル

2011年1月19日15時24分発行